

NEWS RELEASE

Chugoku Transport & Tourism Bureau



人と物の移動を見つめ支えます

国土交通省 中国運輸局

令和2年7月2日（木） 14：00（本省同時プレス）

問合せ先：中国運輸局交通政策部交通企画課
 （担当）三宅、鳶、白髭 TEL：082-228-3495
 FAX：082-228-3629

令和2年地域公共交通優良団体大臣表彰 「広島市地域公共交通活性化協議会」が受賞 ～多数のバス事業者と行政が協調・連携した路線再編を評価！！～

この度、地域公共交通に関して他地域の模範となるような顕著な功績のあった団体を国土交通大臣が表彰する、令和2年「地域公共交通優良団体大臣表彰」が行われます。中国運輸局管内では、「**広島市地域公共交通活性化協議会**」が受賞されることとなりましたのでお知らせします。中国地方からは8団体目の受賞となります。

（参考：平成22年「大竹市地域公共交通活性化協議会」、平成23年「山口市公共交通委員会」、平成24年「倉敷市地域公共交通会議」、平成25年「若桜谷公共交通活性化協議会」、平成26年「中国旅客船協会連合会」、平成28年「玉野市地域公共交通会議」、令和元年「神石高原町地域公共交通協議会」が受賞。）

広島市地域公共交通活性化協議会の取組概要は、下記のとおりです。

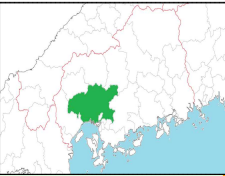
（※詳細は別紙参照）

- 多数のバス事業者と行政が協調・連携し、人口100万人を擁する都市では初となる再編計画を策定した。
- 郊外部等からの乗入れで過密化が問題となっている都心部において、事業者同士が連携し、次の再編事業を実施した（事業者間の「競争」から「協調」へ）。
 - ・既存路線の便数適正化・集約化
：過密区間（紙屋町～八丁堀） 約3,700便/日→約3,400便/日
 - ・わかりやすく使いやすい循環線の導入
：共同運行、パターンダイヤ、共通ロゴマーク等
- 都心エリア内でのバス・路面電車の運賃均一化や共通定期券の導入などの事業者連携による利用者目線の施策を徹底した。

なお、表彰式については、例年7月に実施しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期となっております。表彰式の実施につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大状況を見極めつつ、あらためてお知らせいたします。

広島市地域公共交通活性化協議会（広島県広島市）

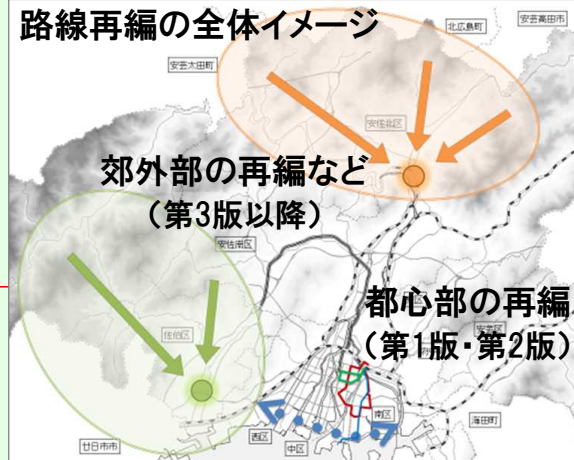
- 多数のバス事業者と行政が協調・連携し、人口100万人を擁する都市では初となる再編計画を策定。
 - 循環線の導入、既存路線の便数適正化・集約化等の路線再編により都心部の過密解消を図るとともに、それにより生まれた余剰の車両や運転手を郊外部に活用することで、サービスレベルの維持・向上に一体的に対応。
- また、都心エリア内でのバス・路面電車の運賃均一化や共通定期券の導入などの事業者連携による利用者目線の施策を徹底。



（取組の概要）

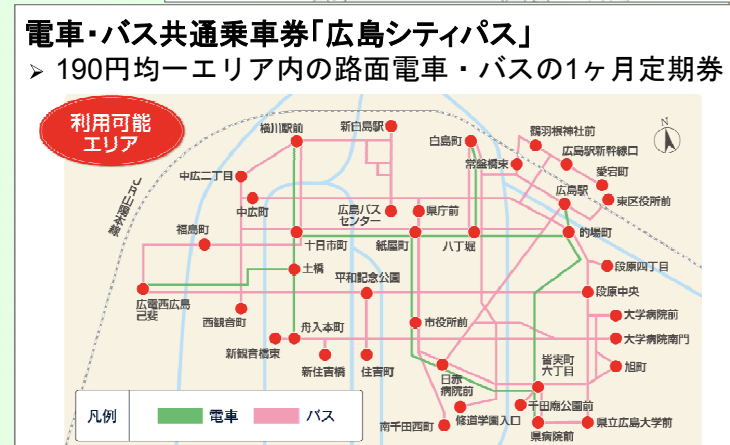
1. 多様な主体の実質的参画

- 地域公共交通活性化再生法の枠組みを活用し、協議会において地域の関係者で協議し、網計画（H28.12）及び再編計画（第1版：H30.3、第2版：R1.12）を策定。**人口100万人を擁する都市での再編計画策定は全国初。**
- 多数のバス事業者（7社）が存在する中で、**事業者が連携し、利用者目線での共同事業（路線再編、運賃均一化、共通定期券の導入等）**を次々と実施。



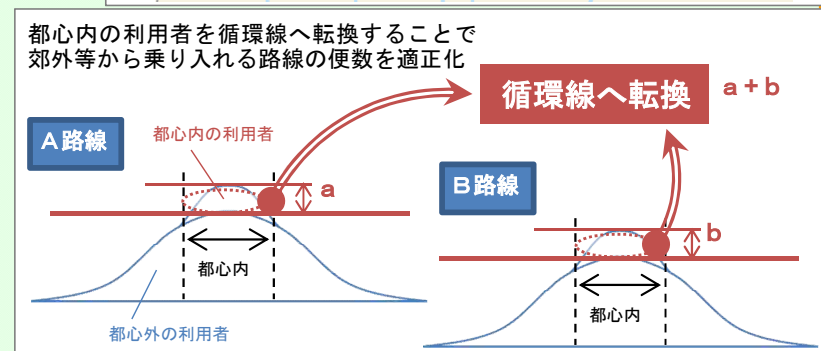
2. 創意工夫

- 独占禁止法により事業者間協議が制限される中、スピード感を持って事業を実行していくために、**全国で初めて段階的に再編計画を策定する手法を採用**。全国に普及する先駆的なモデルに。
- 第1版及び第2版では、郊外部等からの乗入れで過密化が問題となっている都心部において、事業者同士が連携し、次の再編事業を実施（**事業者間の「競争」から「協調」へ**）。
 - 既存路線の便数適正化・集約化：過密区間（紙屋町～八丁堀）約3,700便/日→約3,400便/日
 - わかりやすく使いやすい循環線の導入：共同運行、パターンダイヤ、共通ロゴマーク等
- 循環線の定着とともに更なる運行の効率化を図り、生じた余剰をサービスレベルの低い地域で活用する再編計画であり、循環線の定着に向け、利便性・速達性の確保の他、愛称の公募等の工夫も実施。
 - 導入当初：約3,200人/日 → 半年後：約3,500人/日 → 一年半後：約4,000人/日
 - 市民の足として定着してきており、今後の郊外部の再編の土台作りに成功
- 再編に併せ、都心部での運賃均一化、共通定期券の導入等利用者目線での共同事業を実施。
 - バスに加えて路面電車との相互利用も可能となる**バス・電車共通定期の導入は全国初**。



3. 自立性・継続性

- 計画に基づき、**事業者が協調することで過密区間での便数の適正化や路線の集約化を実現**。
↳ 運転手不足も深刻化する中、再編地域のみならず**他地域における路線維持にもつながる**。
- 行政が複数事業者と協議を重ね、**地域が自ら考え、調整し、実行していく土壌が培われた**。



広島市地域公共交通活性化協議会（広島県広島市）

- エキまちループ（第1版） —
- まちのわループ（第2版） —
- 広島みなと新線（第2版） —

※主な停留所のみ掲載

運行事業者

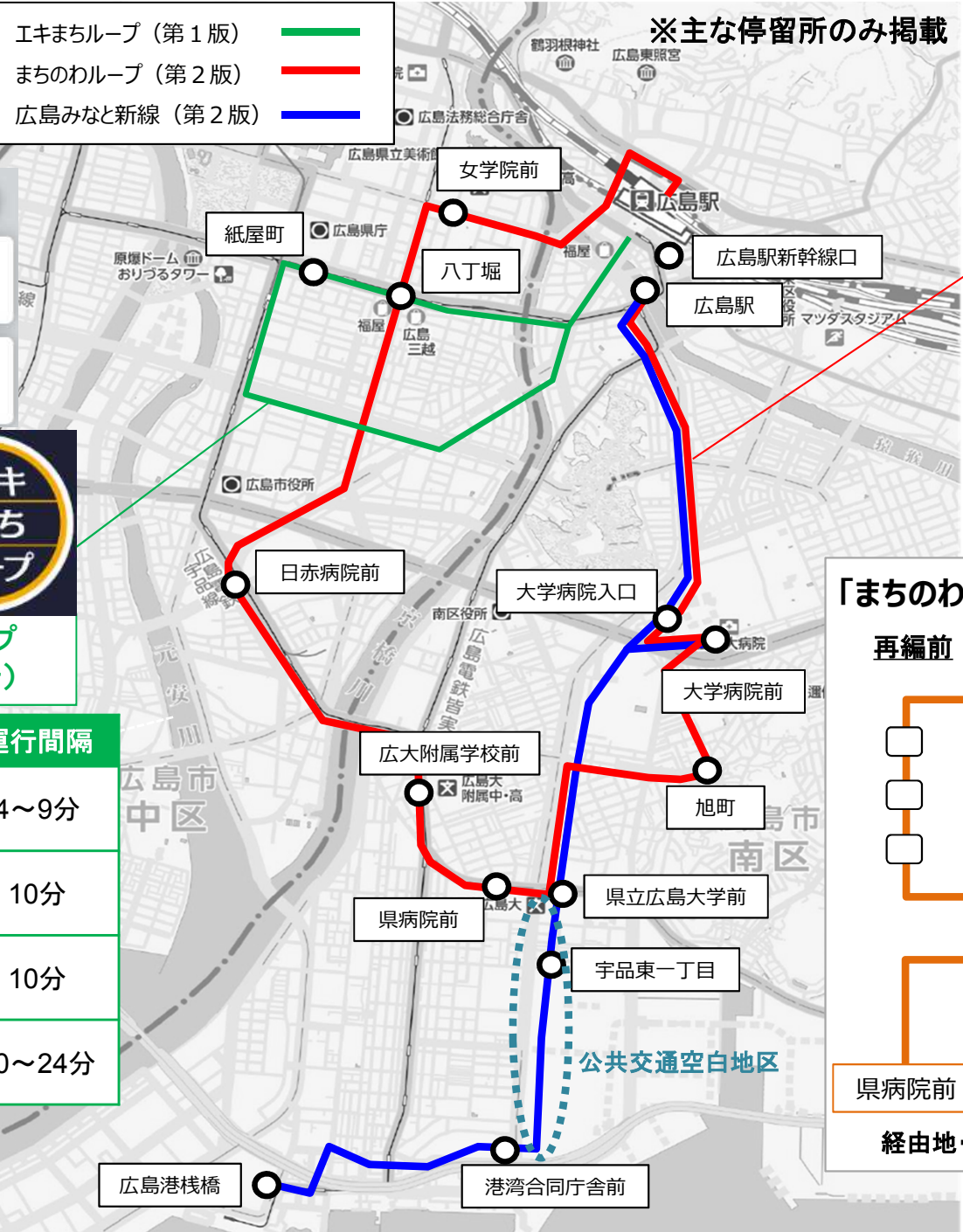
広島電鉄

広島バス

エキまちループ
(2社共同運行)

時間帯	運行間隔
朝ピーク時 (7~9時)	4~9分
オフピーク時 (9~17時)	10分
夕方ピーク時 (17~19時)	10分
夜間 (19~21時)	10~24分

※平日の運行ダイヤ



まちのわループ
(3社共同運行)

時間帯	運行間隔
8~21時	20分

運行事業者

広島電鉄

広島バス

広島交通

「まちのわループ」導入に伴う路線の統合・集約化のイメージ

